反社帝内戦の布陣を一層打ち固め、前段階決戦に自国帝国主義打倒の反帝内乱戦へ結合せよ！

労働者階級の同志諸君！　我が同盟内に発生した鄧小平主義＝右翼日和見主義分子は、綱領新基調を軸とするところの全党をあげた反右派整風運動の展開反社帝内戦の布陣での追撃追討戦によってこっぱみじんに打ち破られた。我々は更に断固としてこの反右派整風運動を押し広げ党内斗争を党外階級斗争の反映として把え党建設＝思想・綱領＝組織＝戦術の全般にわたっての点検強化をやり抜き、これを階級斗争の場へと押し進めていくという斗いへ発展させなければならない。このような党内＝党派斗争が世界史的には4／30以降の世界革命戦争の直接的反攻を準備する時代＝攻勢の段階にあり、国内的に自民党一党独裁の解体と天皇制ファシズム化攻撃＝それに抗する労働者階級の叛乱＝階級斗争の進展というオ2世界帝国主義内部での恒常的内乱状態＝総じて前段階決戦の著つまり、帝国主義、社会帝国主義とプロレタリア革命派の三つ巴戦の展開に対して、9／29・30の地平を守り、非合法中央集党の更なる建設と、三種の軍によるところの革命戦争の再開を克ち取らなければならないという状勢に於て、この状勢から逃亡し、鄧小平主義の解党主義＝無政府主義をずり軍の解体をはからんとした傾向は、日共、協会等の社帝への転落の道である。今や4トロ、日向、プロ青あるいはマル青・紅旗等多くの党派が、歴史的な右旋回を強める中で、我々は一層反右派整風運動を党内斗争から党派斗争へと押し広げねばならない。このような反右派整風運動は中国での反右派整風運動＝オ2次プロレタリア文化大革命と共に世界革命戦争の攻勢段階＝日本革命戦争の対峙段階を主動的に切り開くための不可避の斗いである。

4・30以降の時代は、共産主義社会革命が全面開化し、社帝との斗争が激化する時代であり、帝と社帝の同一化が進み帝国主義が修正主義を取り込んで国家官僚独占資本主義へと転化し、それぞれプロ人民共産主義の革命の絶好の反面教師としての共産主義社会革命のイデオロギー的物質的基盤が成熟す[illegible]ソ社帝主動の「三つの世界」の現出と帝と社帝とプロ革命派の三つ巴戦の展開と革命と戦争の要素が[illegible]大していくという世界史的発展を克ち取った。労働者階級はこれに対し、反社帝重視の反帝反社帝二正面二重対峙戦略の下で「革命で戦争を押しとどめる」前決＝三ブロック同時革命の世界革命戦争で対峙することがその重大な歴史的任務である。この世界革命戦争の攻勢段階にあって中国共産党は71年頃から反社帝重視の反帝反社帝二正面二重対峙戦略をとり、「社会主義」の仮面をかぶった新興帝国主義＝ソ社帝に対する斗いを全面的に開始し、オ3世界に対する「経済援助」「プロ国際主義」に名をかりた新植民地主義的攻勢に対しての斗いを押し広げ帝への追討戦や人民外交を戦略に基き全世界的に展開し世界革命戦争の時代をインドシナ民族解放＝社会主義の斗いの「大後方」として積極的に切り開いていった。しかし鄧小平を頭目とする走資実権派は反ソ連米、オ2世界＝帝国主義との協調を生産力主義として全面に押し出し「右からのまき反し」を策したが、毛主席を中心として断固とした反右派整風運動の展開によって打ち破られていった。この中国共産党の反右派整風運動＝オ2次プロ文革は全世界人民への敵なのだ

戦后の日本資本主義の政治体制は、日帝の米帝主導の下での多国的国際国内蓄積構造の有機的一還として強蓄積＝高度成長の実現を経済的基礎とする自民党一党独裁体制であった。70年代前半＝田中金脈＝ロッキード疑獄の露呈によって今や支配階級内部の対立は史上まれにみるほどに激化している。それは米帝一元体制の解体化の結果生じた、米ソ覇権争奪戦の激化・米ソ戦争の要素の高まり、他方でのオ三世界人民の攻勢に対して又国内労働者階級人民の反抗の高まりに対して自民党一党独才体制にかわるいかなるブルジョア独裁权力を作り出すのかという極めて能動的な混乱であるのだ。そしてこれが国際的国内的階級関係に規定力を持つ自民党が社「共」と連合することによって修正主義・社会帝国主義の手をかりて米帝一元体制の后退の穴埋めし且つ米ソ冷戦化関係・オ三世界の攻勢・労働者階級人民の攻勢の国際的国内的政治経済関係に対処する以外にない。

赤軍派（プロ革）
関東地方委員会
板橋区板橋郵便局私書箱19号　燎原社

社会帝国主義はマルクス主義共産主義論の修正を起点にしてマルクス主義の全体系を修正することによって、帝国主義を革命から防衛し武装させるという政治的任務を持つ。彼らは公然とプロレタリア階級独裁を否定し、小ブル道徳論を展開し、公然と国鉄労働者の斗いを裏切り圧殺し、又部落大衆の斗いにつばをはきかけている。ロッキード疑獄糾弾を共産主義社会革命の有機的一環として自然発生的にではあれ斗わんとする労働者階級に対しては、その斗いを「革新連合政権の樹立」へと向けさせんとしている。この「連合政権構想」が共産主義社会革命として全面開花しつつあるプロレタリア革命を「左」から抑圧＝反革命し、体制に屈従させ他方右手の帝国主義ファシズムの反革命暴力を持って圧殺せんとする巧妙極まる天皇制ファシズムのブルジョア独裁の一形態であることをしっかり見極めて自民党政府打倒の斗いを連続的に「連合政府」打倒の斗いに押しあげていかなければならないのだ。この体制を突破し、賃金奴隷制を廃絶するべく、プロレタリア階級独裁＝社会主義をかち取る為には一層社帝に対する批判を強め、社帝の労働者階級への影響力を断ち切りつつ労働者階級の斗いを反社帝重視の反帝反社帝二正面二重対峙・前段階決戦戦略に基くプロ独運動（党建設）へと領導することが絶対不可欠の条件である。「連合政府」への道は国家官僚独占資本主義によって「国有化」が置きかえられる道であり、軍事経済化の一層の促進、労働組合の労使協調＝経営協議会化による労働階級の叛乱の抑圧の道であり、新植民主義的侵出への道である。金奴隷制の廃絶ではなくその強化（「公正なる分配」なる下に）の道なのだ！

資本主義制度の本質は賃金奴隷制による剰余価値の搾取である。剰余価値は賃金労働者の不払い労働によってかれの労働力の価値以上につくり出され、生産手段の所有者である資本家が無償で取得する価値である。そうである以上、又そこに階級苦、労働苦の根拠がある以上、資本家が、絶対的相対的にこの剰余価値の搾取、収奪を推し進め　それを規定的目的推進的動機として資本制生産が展開される以上、労働者階級の斗いは労働日を巡る斗い、労働条件等をめぐる斗いにのみとどまってはならず（これだけでは「公正な賃金」要求一般、社会正義一般の問題になり、生産力主義の右翼日和見主義・経済主義に落ち込む）同時に資本による賃労働の搾取且賃金奴隷制そのものの廃絶へと結びつけていかなければならない。社会帝国主義はこの事実を隠蔽し、資本主義的生産関係と帝国主義的独占制度を前提にし、正に非「科学的社会主義」としての社会改良をめざし、共産主義社会革命へと全面開化しつつある労働者階級の斗いをも又社会改良の枠内におし込めんとすることによって彼らは資本の最も有効な反革命尖兵として労働者階級の賃金奴隷状態を一層促進してゆく役割を持つのだ。

労働者階級の同志諸君！

中国人民の反鄧反右派整風運動＝オ二次プロ文革を断乎支持し、引きつづき反右派整風運を継続し、毛教条主義反スタトロツキズムのおしなべての右旋回、右翼日和見主義、鄧小平主義、経済主義、スターリン主義を徹底して批判しつくし反社帝重視の反帝反社帝二正面二重対峙戦略を堅持し、社帝を「左」足とする天皇制ファシズム化攻撃に、オ二次前段階決戦で抑え撃とうではないか！

非合法中央集権党建設を軸に組織戦・建軍・統一戦線を三位一体的に推し進め、建軍・ソビエト運動の階級依拠＝根拠地建設＝プロ独運動を推し進め、反社帝内戦の布陣を反帝内乱戦へと結合する建軍攻勢的蜂起の陣地創出で持って天皇制ファシズム軍事独裁を爆砕しよう。

我が同盟赤軍派（プロ革）は全力をあげ、死力を尽して斗う確固である。

スローガン

1 自民党一党独裁打倒！

中間連立政権策動粉砕！

天皇制ファシズム軍事独裁爆砕！

朝鮮侵略反革命強盗戦争準備粉砕！

天皇在位50年式典を全人民政治斗争で爆砕せよ！

2 反右派整風斗争を一層強化し党とプロ人民の結合を勝ち取ろう！

新社帝分子＝桂木（吉田守）一派、新清分子＝高原一派を反社帝内戦の布陣で掃滅せよ！

反社帝重視の反帝反社帝の旗の下建軍ソビエト運動＝社会主義革命戦争にプロレタリア人民を組織せよ！

3 中国第二次プロレタリア文化大革命断乎支持！！

ソ社帝の反革命軍事侵出粉砕！